
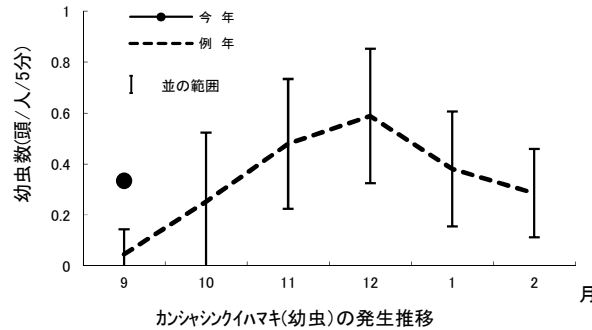
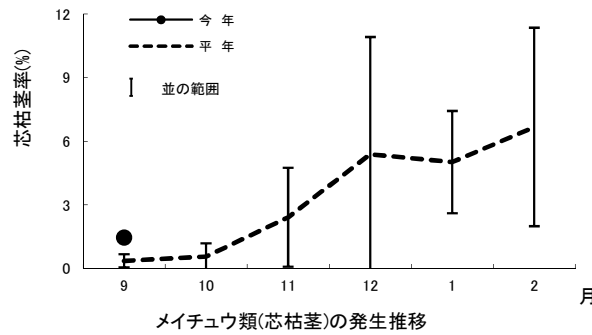


作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類(カンシャシクイハマキ)		
9月の発生量(現況)	多		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	芯枯茎率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠(調査結果)



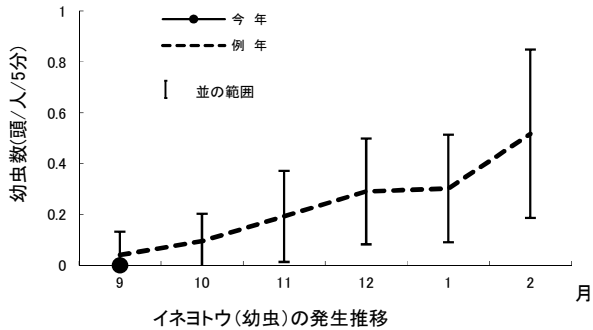
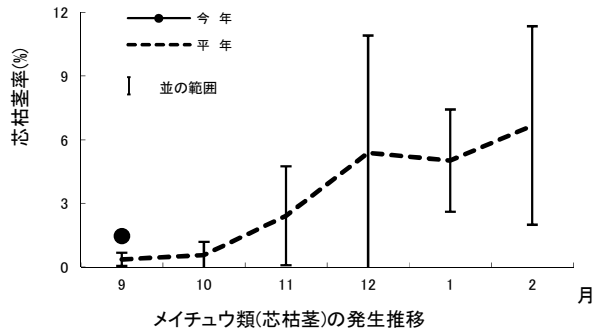
- ・ 防除員の報告によると、久米島でメイチュウ類が多発生。

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	② メイチュウ類(イネヨトウ)		
9月の発生量(現況)	多		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	芯枯茎率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠(調査結果)



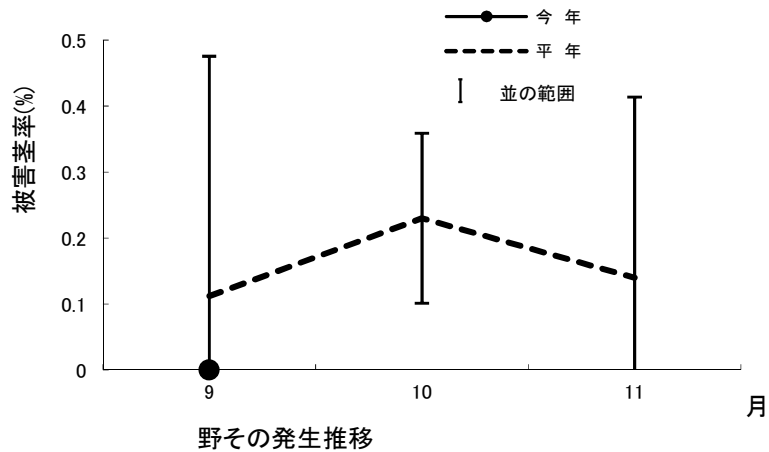
- ・ 防除員の報告によると、久米島でメイチュウ類が多発生。

防除のポイント

- ・ 卵は塊で産み付けられ、ふ化した幼虫は葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	野そ		
9月の発生量(現況)	(発生なし)並		
10月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	被害茎率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



防除のポイント

- ・ 管理されない耕地などで繁殖するので、ほ場周辺も含めて雑草防除等の管理作業を行う。
- ・ 被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。